

科学研究費助成事業（基盤研究（S））公表用資料  
〔令和2（2020）年度 中間評価用〕

平成30年度採択分  
令和2年3月31日現在

シナ=チベット諸語の歴史的展開と言語類型地理論

A Study on the Historical Development of the Sino-Tibetan

Languages and their Typological Geography

課題番号：18H05219

池田 巧（IKEDA Takumi）

京都大学・人文科学研究所・教授



研究の概要（4行以内）

シナ=チベット諸語の地理的多様性と連続性、類型構造の深層における共通性を探究し、アジア地域における諸言語の類型構造の漸次的推移に反映された歴史的变化の諸相を解明する。未記述言語の調査を進め、類型構造の分析を深化させ、古文獻記録の言語データと比較することで、古代漢語や西夏語を含むシナ=チベット諸語の系譜と相互関係を実証的に再構築していく。

研究分野：言語学

キーワード：シナ=チベット諸語、古代漢語、牧畜民型と農耕民型、言語類型地理論

1. 研究開始当初の背景

日本から提唱された東アジアの諸言語に関する巨視的な理論である言語類型地理論をシナ=チベット諸語においてより広範に検証を行ない、発展的な継承と展開を進めることで、ヨーロッパの歴史言語学が確立した比較方法による研究の限界を補強し、アジアの諸言語の記述分析と歴史の再構築に新たな視座からの貢献を旨としたい。

2. 研究の目的

シナ=チベット諸語の地理的多様性と連続性、類型構造の深層における共通性を探究し、アジア地域における諸言語の類型構造の漸次的推移に反映された歴史的变化の諸相を解明する。古代漢語や西夏語を含むシナ=チベット諸語の系譜と相互関係を実証的に再構築していく。言語間の類型構造の類似が、果たして同系の祖語からの継承なのか、接触による影響なのか、あるいは独自の発達を遂げた結果なのかを検証する。

3. 研究の方法

シナ=チベット諸語および漢語方言について、未記述言語の調査と文献史料の収集整理を行ない、類型構造の発展のメカニズムを分析して、地域特徴の形成を解明していく。春と秋に定例の研究集会を開催し、シナ=チベット諸語の類型構造の共通性と多様性、およびその対応関係を検証する。また各種の言語調査票および主要な語彙データ集の統合索引を作成し、データの利用と参照の便を図る。

4. これまでの成果

〔1〕未記述言語の調査

■現地の専門家と共同あるいは協力のもとで行なった未記述言語および未記述事象の調査は以下のとおり。チベット語諸方言については、星泉が中国青海省にてアムド・チベット語の牧畜民の民俗語彙の調査を実施し、約800語の新語を追加した。海老原志穂は、ブータンにてラヤ語、リンシ語、ブムタン語における牧畜語彙に関する記述を行なったほか、チベット語キーロン方言、タマン語、シェルパ語、ツム語における牧畜文化語彙の基礎調査を行なった。達娃扎西は池田巧と共同でチベット語カム方言の口語語彙の記述を進めた。

■羌系諸語については、池田巧が中国四川省にてムニャ語の東部方言について基礎語彙を記録し、海外研究協力者の黄成龍と周發成が羌語方言のデータを収集した。

■ヒマラヤの諸語については、池田巧がブータンのケンカ語の基本構造を記述したほか、桐生和幸がネパールにてメチェ語の方言調査を継続し、本田伊早夫は英国にてカイケ語の方言調査を行なった。

〔2〕チベット文語の成立と基層言語の探究

■チベット文語の構造論および基層の解明につながる研究成果として、武内紹人、星泉、海老原志穂、池田巧が『チベットの歴史と社会』言語篇の各章を担当して共同執筆した。同書は臨川書店より近日刊行予定。

### 〔3〕民族文字文献の調査と分析

■民族文字による文献記録および碑文などの言語史料は、歴史研究のための重要な基礎資料である。荒川慎太郎は、ポーランドのヤギウェオ大学に所蔵が確認された西夏文『法華経』写本残存巻について、基礎的な調査を行ない報告をまとめた。岩佐一枝は、彝（イ）語の2種類の否定辞について、方言の音形と用例およびそれを表記する彝文字のバリエーションを調査した。岡野賢二と澤田英夫は、ミャンマー考古学局の支援のもとで、ビルマ文字、ピュー文字、モン文字碑文の撮影を行った。西田愛は、ラダックにおいてチベット語碑文の予備調査を行なった。

### 〔4〕古代漢語の構造分析

■古代漢語の構造分析において明らかになった主な論点には次のようなものがある。大西克也は、古漢語研究においてチベット＝ビルマ系諸語に見られる文法機能を伴う形態論を機械的に古代中国語に適用する風潮に警鐘を鳴らし、上古中国語の受身文の特徴を巨視的に明らかにした。宮島和也は、上古中期漢語（おおよそ春秋戦国時代）の多種多様な否定詞を改めて整理概観し、通時的変化とそのメカニズムの再検討を行った。戸内俊介は否定詞「不」「弗」の機能が甲骨文と西周以降の言語で異なることを示し、「不」は中立的否定詞である一方、「弗」は使役や限界性を意味する否定詞であると結論づけた。松江崇は、疑問語気助詞の体系などに着目して、中古中国語における方言差を論じた。

### 〔5〕漢語方言の構造分析とその地域の変容

■漢語方言と周辺言語間の影響と変容について、次のような調査が行われた。太田斎は、中国陝西省咸陽市の淳化方言について、ラマル・クリスティン教授（フランス東方言語文化学院 INALCO）との共同調査を行なった。黄沈黙は中国浙江省に話される〈蛮講〉という方言を調査し、基層となる閩東語の特徴の残存と同方言の形成に影響を与えた呉語の諸特徴がどのように現れているかについての分析に着手した。

### 〔国際学会／研究会の開催〕

〔1〕2019年5月10日～12日に神戸市外国語大学にて The 27th Annual Conference of International Association of Chinese Linguistics (IACL-27)を協賛開催し、《漢藏語言學論壇》というワークショップを設けて、否定の類型について研究討論を行った。

〔2〕国外から招待報告者を招いて、2020年1月11日～12日に京都大学人文科学研究所にて Workshop on Negation and Sino-Tibetan Languages 2 を開催した。

（報告内容は、いずれも後述の6.を参照）

### 5. 今後の計画

これまでの研究実績を基礎に、未記述言語や未記述事象に関するデータの補充と類型構造の分析を進める。春と秋に定例の研究集会を継続開催し、共通課題として選定した類型構造を分析して言語間の対応と差異を検証する。検討中の課題には、\*能格構文 \*声調交替の文法機能 \*音調のメカニズム \*動詞接辞の機能と発展 \*確認性の表示 などがある。取り上げる類型構造は、研究動向とデータの蓄積、分析結果の有意性などを勘案して、適宜判断していきたい。

### 6. これまでの発表論文等

#### 〔著書（共著）〕

池田 巧, 岩尾一史 [編]『チベットの歴史と社会』上/下, 臨川書店 (2020年刊行)

18. 武内紹人「チベット語の歴史」
19. 星泉「チベット語の文法を動的に見る」
20. 海老原志穂「チベット語の方言を俯瞰する」
21. 池田巧「類型論と系統論からみたチベット語」

#### 〔国際会議〕

**Workshop on Negation and Sino-Tibetan Languages 2**, at Institute for Research in Humanities, Kyoto University, 11-12 January 2020.

LIN You-jing 林 幼菁 (北京大学) : Isomorphism btw Neg and Interrogative: A Case in Situ Rgyalrong.

KATO Atsuhiko 加藤 昌彦 : Negation in Pwo Karen.

Timotheus Adrianus Bodt (PD researcher, SOAS London) : Negation strategies in Kho-Bwa.

KIRYU Kazuyuki 桐生 和幸 : Negation patterns in Meche.

Ochiai Izumi 落合 いずみ (PD researcher) : Negators in Atayalic languages from a comparative perspective.

Weera Ostapirat (Mahidol University) : Sino-Tai: Appraisal and Competing Hypotheses.

**WS on Sino-Tibetan languages**, in the 27th Annual Conference of International Association of Chinese Linguistics, at Kobe City University of Foreign Studies, 11th May, 2019.

林 範彦 : Research project on negation phenomena in Sino-Tibetan languages.

宮島和也 : 試論上古漢語否定詞の多様性及其體系  
鈴木 博之 : 從“哪”到“不” — 雲南迪慶藏語否定標記的語法化。

白井 聡子 : Negation forms in nDrapa.

岩佐 一枝 : An outline of negation in the Yi languages.

### 7. ホームページ等

〔準備中〕